

あらお



みんなで築く
「心配なし あらお」

1月号もくじ

- P.2 【特集】
ささえあい活動推進地区の取り組み
【連載】
ささえあい活動に取り組む地域を紹介します!
- P.3 【寄付のお礼】
香典返し寄付
一般寄付のお礼
フードバンク事業
- P.4 【福祉かわらばん】

社協だより



令和6年度 歳末たすけあい事業実施!



～赤い羽根のチカラで～



令和7年

1月

No.239

歳末たすけあい事業は、赤い羽根共同募金を活用して歳末に行われる地域活動です。今年度は38の地域がもちつきや門松づくり、ひとり暮らし高齢者宅の清掃支援、子どもたちから高齢者へ手作り年賀状の送付など、歳末にちなんだ地域活動に取り組みました。



Shinpainashi

【発行者】社会福祉法人荒尾市社会福祉協議会

〒864-0011 熊本県荒尾市下井手193番地1

TEL 0968-66-2993 FAX 0968-66-2994

Eメール araoshisyakyo@crux.ocn.ne.jp

荒尾市社協

HP <http://arao-shakyo.com/>





ささえあい活動推進地区の取り組み



ささえあい活動推進地区は、高齢者などがいつまでも住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくことを目指して、地域住民が主体となって高齢者などの生活支援を行う取り組みです。9つのメニューを設定しており、地域の「困りごと」に応じて地域住民が取り組むメニューを選択し、荒尾市社協が取り組みを支援しています。

【ささえあい活動推進地区メニュー】

①サロン活動(会食あり、なし)

地域の公民館などで高齢者などが集うことのできるサロンを開催して高齢者どうしの交流を促進します。

②住民どうしの見守り体制の整備

地域住民どうしの見守りの体制を区で整備して、万が一の際の連絡体制を構築します。

③買物支援販売会(公民館での販売会)

トイレットペーパーやティッシュペーパー、米、油、醤油、水など高齢者がお店で買って、自宅まで持ち帰るのに不便なものを中心に公民館などで販売会を開催します。

④日常生活支援

高齢者などが在宅で生活していくうえで、ヘルパーなどの公的サービスでは対応できない生活上の困りごと(蛍光灯の交換、庭の草刈、リサイクルゴミ出しなど)を解決するためのチームを地域で組織します。

⑤子どもサロン

地域の公民館などで子どもが集うことのできるサロンや子ども食堂を開催して交流を促進します。

⑥移送支援

移動手段を持たない高齢者などを地域住民が商業施設や病院などに移送する取り組みです。荒尾市社協が自動車を貸与して支援します。

⑦認知症声かけ見守り訓練

認知症になっても地域で安心して暮らしていくために声かけの訓練や認知症サポーター養成講座を行います。

⑧買い物ツアー

交通手段がないため、買い物に行くことが困難な高齢者等を地域住民が商業施設まで送迎して、買い物をしていただく取り組みです。荒尾市社協が自動車を貸与して支援します。

⑨男性向け集いの場

地域の公民館等で男性が参加しやすい集いの場を設置する取り組み。囲碁や将棋、麻雀やグラウンドゴルフなどに取り組まれる地域が多いです。



【お問合せ】 荒尾市社会福祉協議会 地域共生課 地域福祉係 TEL 0968-66-2993 FAX 0968-66-2994



ささえあい活動に取り組む地域を紹介します!



荒尾市社会福祉協議会は、地域住民が主体となって高齢者や子どもなどの生活課題を解決する「ささえあい活動推進地区事業」を推進しています。今回は、ささえあい活動に取り組む「下赤田区」の皆さんをご紹介します!

⑤下赤田区【四中校区】

下赤田区のサロンは、となり近所のつながりを大切に「地域のつどい場」として皆さんが気軽に参加できる場づくりを行っています。取材時はサロンメンバーで紅葉見学をされていました。



下赤田区が取り組むささえあい活動メニュー

■いきいきサロン: 開催日時…毎月第3土曜日 午前10時～午後1時
場所…下赤田公民館

○サロン代表: 渥美妙照さん、田上加代子さんより

「今後もサロンのメンバーで楽しみながら様々な場所に出掛けたいです。もっと地域の方にサロンにご参加いただき、地域活動を盛り上げていきたいです。」

【お問合せ】 荒尾市社会福祉協議会 地域共生課 地域福祉係 TEL 0968-66-2993 FAX 0968-66-2994

香典返し寄付のお礼

※香典返し寄付は、荒尾市社会福祉協議会と荒尾市福祉課にて受付けています。

次のとおり、金一封を社会福祉事業にお寄せいただきました。厚くお礼申し上げますとともに故人のご冥福をお祈りします。

(受付順・敬称略)

10月受付分

| 寄付者名 | 寄付者住所 (行政区) | 続柄 | 物故者名 | 年齢 |
|---------|----------------|----|---------|-----|
| 境 智 行 | 下赤田 | 亡母 | 境 和 子 | 86 |
| 松 本 和 清 | 井川口 | 亡父 | 松 本 傳 | 98 |
| 岩 永 圭 介 | 神戸市灘区 | 亡母 | 岩 永 恵美子 | 85 |
| 前 田 肇 | 打越 | 亡妹 | 前 田 敏 子 | 81 |
| 荒 木 藤 子 | 助丸 | 亡夫 | 荒 木 勝 行 | 83 |
| 宮 崎 政 信 | 普源寺 | 亡母 | 宮 崎 ハツ子 | 98 |
| 加賀田 洋 子 | 八幡台三丁目 | 亡夫 | 加賀田 和 彦 | 85 |
| 西 川 美枝子 | 水島 | 亡夫 | 西 川 信 夫 | 82 |
| 坂 本 一 義 | 福岡市南区 | 亡母 | 坂 本 登美子 | 86 |
| 廣 周 造 | 小野 | 亡母 | 廣 マチ子 | 89 |
| 片 山 勇 | 牛水中 | 亡母 | 片 山 和 子 | 80 |
| 安 村 圭 子 | 助丸 | 亡夫 | 安 村 元 善 | 89 |
| 片 山 榮 造 | 境崎中 | 亡母 | 片 山 サカエ | 104 |
| 西 岡 美津代 | 打越 | 亡夫 | 西 岡 文 男 | 88 |

11月受付分

| 寄付者名 | 寄付者住所 (行政区) | 続柄 | 物故者名 | 年齢 |
|---------|----------------|-----|---------|-----|
| 橋 本 正 直 | 府本下 | 亡母 | 橋 本 羊 子 | 93 |
| 吉 田 ひろみ | 野原北 | 亡父 | 吉 田 憲 一 | 103 |
| 田 中 こずえ | 境崎東 | 亡母 | 飯 田 誠 子 | 96 |
| 福 田 久美子 | 日の出町 | 亡母 | 福 田 ミドリ | 92 |
| 中 川 高 廣 | 境崎東 | 亡母 | 中 川 まつゑ | 96 |
| 西 川 愛 子 | 今寺 | 亡夫 | 西 川 章 | 92 |
| 小 林 裕 史 | 大和 | 亡母 | 小 林 恵美子 | 93 |
| 上 田 淳 子 | 野原南 | 亡夫 | 上 田 久 雄 | 74 |
| 杉 山 英 男 | 月田 | 亡妻 | 杉 山 スヤ | 88 |
| 猿 渡 綾 子 | 朝日 | 亡母 | 猿 渡 登美子 | 90 |
| 井 原 健 一 | 月田 | 亡兄 | 井 原 隆 之 | 83 |
| 橘 美年子 | 中央東 | 亡弟 | 村 上 義 廣 | 77 |
| 中 村 規 子 | 熊本市北区 | 亡姉 | 月 山 瑛 子 | 87 |
| 村 中 光 誠 | 北増永 | 亡父 | 村 中 直 行 | 99 |
| 大 石 博 幸 | 川北 | 亡母 | 大 石 弘 子 | 84 |
| 森 澤 ナツエ | 菰屋南 | 亡義弟 | 森 澤 哲 二 | 75 |
| 坂 井 久仁子 | 緑ヶ丘三丁目 | 亡夫 | 坂 井 一 男 | 65 |
| 田 上 雅 章 | 万田東 | 亡母 | 田 上 賀代子 | 101 |
| 荒 田 小夜子 | 山浦 | 亡夫 | 荒 田 保 則 | 75 |
| 受 島 秀 樹 | 水島 | 亡母 | 受 島 紀美子 | 76 |
| 山 崎 スエ子 | 金山上 | 亡夫 | 山 崎 久 義 | 75 |
| 黒 田 幸 満 | 昭和町 | 亡母 | 黒 田 ミツエ | 105 |
| 本 村 眞 一 | 本村 | 亡父 | 本 村 茂 | 99 |

フードバンク事業にご寄付いただきました

次の方からフードバンク事業に食料をご寄付いただきました。皆様の善意に厚くお礼申し上げます。

くろだいや 子ども肉うどんまつり 様
前川哲也 様 大園 守 様 大園 正道 様
荒尾市役所 福祉課 保護係 様
宮本 雄一 様 緒方 真由美 様
長谷川 文代 様 フードバンクありあけ 様
ゆめタウンシティモール 様 (順不同)

一般寄付のお礼

次の方から社会福祉事業に役立ててほしいと心温まる寄付をいただきました。皆様の善意に厚くお礼申し上げます。

熊本中央信用金庫 信交会 中央支店 様
熊本中央信用金庫 信交会 荒尾支店 様



◀熊本中央信用金庫 信交会
中央支店 様(左)・
荒尾支店 様(中)
より一般寄付受領の様子



福祉かわらばん

荒尾のまちの福祉
トピックスをお伝えします！

ご報告

令和6年度 第1回 あらお できるしこ座談会を開催しました

10月24日(木)に荒尾市立図書館 みんなのへやで「令和6年度 第1回 あらおできるしこ座談会」を開催しました。当日は、移送・買物ボランティア、医療福祉団体、民間企業、商業施設、公共交通機関、教育機関、荒尾市、荒尾市社協などの12団体が出席し、「移送・移動の課題」「どんな仕組みがあったらいいか」等についてディスカッションを行いました。

座談会では、「支援者の思い」や「先進技術の活用」「移送支援にかかる事故のリスク」等の意見やアイデアが聞かれました。今回出た意見やアイデアをヒントに、次回2月開催予定の座談会では、「移動・移送」の課題に対して、更にディスカッションを深めていきます。



▲意見交換、グループ発表の様子



[お問合せ] 荒尾市社会福祉協議会 地域共生課 地域福祉係
TEL 0968-66-2993 FAX 0968-66-2994

ご報告

荒尾支援学校高等部 「地域貢献プロジェクト」進行中！

荒尾支援学校高等部が取り組む「地域貢献プロジェクト」。2年目となる今年は、「本村区」や地域福祉プラットフォーム参加団体である「医療法人有働会 有働病院」「医療法人洗心会」の協力のもと、学生の技術や技能を活かした貢献活動に取り組んでいます。

10月30日(水)に有働病院で実施した取り組みでは、デイケアの利用者に学生が考案したレクリエーションを提供して、利用者の皆さんに大変喜ばれました。また、11月27日(水)に洗心会で実施した取り組みでは施設の清掃等を行い、学生がこれまで培ってきた技能を発揮しました。

荒尾市社会福祉協議会及び地域福祉プラットフォームでは、今後も荒尾支援学校高等部の地域貢献プロジェクトを支援してまいります。



▲有働病院での活動の様子



▲洗心会での活動の様子

[お問合せ] 荒尾市社会福祉協議会 地域共生課 地域福祉係
TEL 0968-66-2993 FAX 0968-66-2994

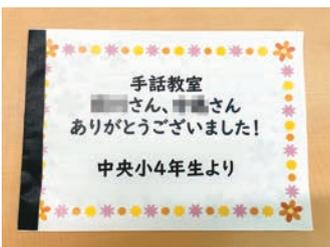
ご報告

ゲストティーチャーを派遣しました！

緑ヶ丘小学校、中央小学校の4年生にゲストティーチャーを派遣して「手話教育」「点字教育」を行いました。講師は熊本県手話サークルわかぎ荒尾グループ、点字サークルともしびの皆さんで、2校の児童146名が手話と点字を学びました。

参加した児童からは「手話や点字の学習をとおして、お互いを大切にすることに気づいた」「困っている人がいれば声をかけたり、お互いのささえあいが大切だと感じた」などの感想が聞かれました。

荒尾市社協では今後も未来の福祉人材の育成を目指して、ゲストティーチャーの派遣を行ってまいります。



▲学んだ児童からのサンキューレター



▲ゲストティーチャーの授業の様子

[お問合せ] 荒尾市社会福祉協議会 地域共生課 地域福祉係
TEL 0968-66-2993 FAX 0968-66-2994

ご報告

貯筋体操交流会を開催しました！

11月8日(金)に荒尾市運動公園多目的広場で「貯筋体操交流会(グラウンドゴルフ大会)」を開催しました。この交流会は貯筋体操に取り組む地域の親睦と体操のモチベーションの維持・向上を目的とし、毎年開催するものです。当日は、38地区、198名が参加し、過去最多の参加地域・参加者となりました。秋空の下、グラウンドには参加者の笑い声とショットの快音が響きわたり、楽しい交流のひとつとなりました。



▲多数の地域・参加者が交流を深めました



ご報告

はつらつ小袋の貯筋体操の 修了式を行いました！

貯筋体操に取り組まれてきたはつらつ小袋(小袋工芸館で開催)の皆さんが10月29日(火)に修了式を迎えました。今後は住民主体の自主活動となりますので、皆さんの活動が継続できるよう社協からも支援を行ってまいります。今後ともよろしくお祈りします！



▲はつらつ小袋の皆さん

